



芦田小だより

平成28年 6月号
丹波市立芦田小学校

大好き芦田

6月2日、3日のファミリー参観日には、2日間でのべ90名ほどの参観をいただき、お忙しい中、ご来校本当にありがとうございました。

6月3日は143回目の創立記念日で、芦田小学校の最後の創立記念日でもありました。午後には開催しました閉校記念行事「143回目の誕生日おめでとう！芦田小」にも、保護者地域の方約50名が参加していただきました。芦田小学校の卒業生3名の方にゲストとしてお越しいただき、芦田小の歴史や校歌についてお話をしていただきました。

また、6年生はこの日に向けて、今年度から始まった「ふるさと教育」で地域の方から聞き取りをして、芦田小学校の歴史について学んできました。

まず、大谷自治振興会長より、自治振興会で作成していただいた横断幕を披露していただきました。



地域の方を先生に地域のことを学ぶ



幅6mの立派な横断幕。職員室前に掲示しています。

第1部「芦田小ヒストリア～先輩のお話とクイズで学ぶ～」では、小寺昌樹さんから、昔の芦田小学校の様子をお話しいただくとともに、6年生が学習してきた、「芦田」の由来、メタセコイアが2本あったこと、通学路が違っていったことなどを劇とクイズにして発表しました。

続いて、第2部「今よみがえる芦田小学校歌 原曲」では、大西明美さんから、昭和41年以前に校歌がなかったときに歌われていた『運動唱歌』などの歌について、細見多恵子さんからは、6年生の時にできた校歌についてお話をしていただき芦田小学校の校歌に込められた願いについて教えていただきました。

そして、校歌制定に奔走した安井校長の書き残した『校歌誕生史』に添付されていた楽譜をもとに、当時の伴奏と速さで校歌を歌いました。

この行事を通して、子ども達は改めて芦田小学校のことを深く知り、愛着を深めました。これからもいろいろな行事や学習で地域や保護者の皆様のご協力を得ながら「ふるさと芦田」について学んでいきたいと思ひます。

